

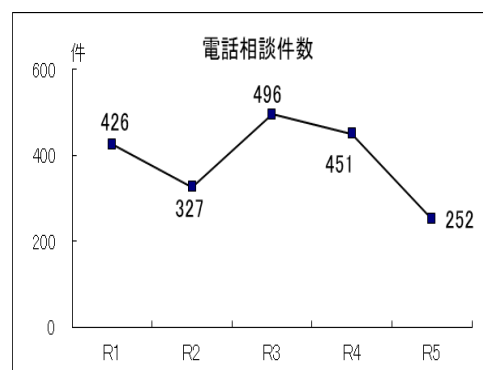
第2 地域福祉

1 住民主体の相談活動

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	電話相談	歳			

結果の概要

- 電話の匿名性により、こころの悩みや生活不安等の訴えを傾聴し、相談者に寄り添う形で対応した。
- 相談員会議を毎月1回開催し、情報共有及び対応方法の検討を行った。



実績等

<事業実績>

相談日	4～9月：月～金曜日（祝日・休日を除く） 10～3月：月曜日・水曜日・金曜日（祝日・休日を除く） 午後1時から4時
相談方法	相談専用ダイヤルによる電話受付
相談員	1人で担当(6人の交代制)
相談日数	193日
相談件数	252件
相談員会議	12回

<相談内容>

内容	件数	内容	件数	内容	件数	内容	件数	内容	件数
生計	0	年金	0	職業、生業	2	住宅	1	家族	8
結婚	0	離婚	0	健康、衛生	1	医療	4	精神保健	219
人権、法律	0	財産	2	事故	0	児童福祉	0	母子保健	0
教育、青少年	0	母子、父子福祉	1	高齢者福祉	7	苦情	0		
心身障害児（者）福祉	0	ボランティア	0	その他	7				

※相談内容は、一回の相談で複数の相談内容がある場合があるため、一部重複あり。

分析・課題

- 継続相談者（221件）が全体の9割近くで、精神保健の相談が主であった。新規相談（31件）は病院への受診などの「健康、衛生」、仕事や転職などの「職業、生業」、高齢の親についての「高齢者福祉」等の相談があった。
- 事業開始当初と比べ多種多様な相談支援機関の増加等の状況に鑑みて、電話相談員と協議の上、10月から相談日を月曜日・水曜日・金曜日の週3日に変更した。市報等で周知を図るとともに、特に継続相談には混乱のないように丁寧に変更について伝えた。その結果、相談件数に令和4年度との差が生じている。

○精神保健に関わる専門的な相談内容が多く対応に苦慮しており、電話相談員へのメンタルヘルスケアのための研修や相談できる場づくりが必要である。

番号	事業名	財源			
		自主 歳	補助	委託	事業
(2)	ふれあい福祉相談				

結果の概要

- 新型コロナウイルスの感染拡大予防以降、対面での実施は休止したが、令和4年6月より2拠点（菊野台・西部）で対面での相談を再開。令和5年度も2拠点での実施を継続した。
- 利用者へは、チラシや地域福祉センター内掲示、ふくしの窓やホームページ掲載等の方法で周知した。
- 6人の相談員が交代制で担当し、生活の『困りごと』や『悩みごと』等だけでなく、日常の何気ない会話ができるような話しやすい環境をつくり、聞き取るように努めた。
- 年間6回の相談員会議及び地域の常設通いの場（しばさき彩ステーション・ふふ富士見）への見学を実施した。相談員会議では、利用者の共有や実施方法の検討等を行い、常設通いの場の見学では、実際に活動の様子を見たり、運営方法等を学んだりする機会となった。

実績等

- 新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、実施時間の短縮を継続し、13時までとした。
- 利用者数と内訳

名称	相談場所	相談日	相談員	実績
菊野台	菊野台地域福祉センター 菊野台コーナー	水曜日 (祝祭日を除く) 午前10時～午後1時	各コーナー 1人担当 6人交代制	41回実施
西部	西部地域福祉センター 西部コーナー	月曜日 (祝祭日、第4を除く) 午前10時～午後1時		31回実施
	菊野台	西部		合計 72回
相談	1件		0件	① 1件
話し相手	177件		239件	② 416件
血圧	80件		199件	③ 279件
① + ② + ③ =				696件

2 住民主体の交流活動

番号	事業名	財源			
		自主 歳	補助 市	委託	事業
(1)	ひだまりサロン事業				

結果の概要

- 新規立ち上げは3サロン、解散は5サロン。3月31日時点で、89サロンであった。

- 解散に至った主な理由は、スタッフ・参加者の高齢化により、継続的なサロン活動の継続が困難になったものであった。
- 約670人がサロンスタッフとして活動に参画した。
- サロン応援スタッフ、地域支え合い推進員、地域福祉コーディネーター及びボランティアコーディネーターが連携して、サロンの立ち上げや活動の継続、再開の支援を行った。
- 活動分野・テーマ別での交流・情報交換を目的に、全体交流会を開催した。111人のサロンスタッフが参加し、各々のサロン活動への想いや活動内容について活発な意見交換を行った。
- 活動場所の改修工事による会場変更や、活動回数の変更について相談を受け、支援を行った。

実績等

○各グループ活動内容一覧（年度内に解散したサロン No. 8, 14, 15, 16, 76 を含む）

	サロン名	活動場所	活動内容	活動日、実績
1	サンルーム西華	西部地域福祉センター	茶話会	第2月曜日 11回開催
2	緑ヶ丘おしゃべりサロン	緑ヶ丘地域福祉センター	脳トレ、体操、琴等演奏会	第2火曜日 11回開催
3	国領ひだまり	調布市市民プラザあくろす	茶話会	第2、第4金曜日 20回開催
4	ゆたかサロン	ライオンズマンション1階談話室	茶話会	第1、第3火曜日 24回開催
5	多摩住口号棟ひだまり	多摩住口号棟集会室	食事、クリスマス会	第3金曜日 12回開催
6	ひだまり入間	入間地域福祉センター	歌、体操、ぼけない君ビー玉	第3火曜日 11回開催
7	そよ風サロン	個人宅、調布住宅	歌、体操、読書、学習会、ミニ音楽コンサート	第1火曜日、第4木曜日 24回開催
8	木曜クラブ	多摩川住宅ハ10号棟集会室	体操、歌、おしゃべり	第3木曜日 6回開催 ※令和5年度解散
9	トラジ会	西東京南部同胞生活相談総合センター	健康体操、おしゃべり	第1、第3木曜日 20回開催
10	ひだまり菊野台	個人宅	おしゃべり、体操、相談	第4木曜日 10回開催
11	ふれあいランチ	シルバーピア調布染地	茶話会	第1、第4木曜日 19回開催
12	若葉三丁目ひだまり	個人宅	読書会、近況報告	第1、第3火曜日 24回開催
13	きさらぎサロン	たづくりみんなの広場	パッチワーク、茶話会	第2水曜日 12回開催
14	サロンいこい	布田老人憩いの家	絵手紙	第2金曜日 ※令和5年度解散

第1部 第2地域福祉

15	ひだまりぶちぼあん	ぶちぼあん	おしゃべり、読書会	第2土曜日 ※令和5年度解散
16	なかよしサロン	小島町ふれあいの家	散歩、輪投げ、工作、体操	第3月曜日 ※令和5年度解散
17	緑ヶ丘一丁目自治会 グリーンサロン1	緑ヶ丘地域福祉センター	語らう会	第1、第3木曜日 10回開催
18	アゼリアお茶の会	マンションアゼリア集会室	茶話会	第2、第4木曜日 22回開催
19	農園サロンののはな	西つつじヶ丘の畑	園芸	毎週火曜日 24回開催
20	飛田給ひだまり	西部ふれあいの家	茶話会、輪投げ、ポッチャ	第2木曜日 12回開催
21	農園サロンぴーまん	西つつじヶ丘の畑	園芸	毎週木曜日ほか 48回以上開催
22	調布ケアラーの会クローバー	調布市市民プラザあくろす	家族介護者の集いの場	第3木曜日 12回開催
23	緑ヶ丘健康麻雀サロン	緑ヶ丘地域福祉センター	麻雀	毎週木曜日 48回開催
24	緑ヶ丘一丁目自治会 グリーンサロン2	緑ヶ丘地域福祉センター	歌	第2、第4木曜日 16回開催
25	野川芝桜の会	野川河川敷	芝桜の手入れ、野川清掃	第2火曜日、第4日曜日 23回開催
26	やよい会	下石原地域福祉センター	カラオケ、交流	第2、第4木曜日 24回開催
27	緑ヶ丘2丁目あきらさん家	ほんのもり	個別訪問、近況報告	第3月曜日 ※活動休止中
28	アズランカ	個人宅	子育て、手芸、ワークショップ	第2、第4水曜日 21回開催
29	つどい場カフェ	個人宅	介護について話し合う	第3月曜日 ※活動休止中
30	ひまわり	ネオコーポ調布多摩川集会室	みそ汁の会、茶話会、麻雀等	第2水曜日 24回開催
31	童謡を歌う会シンガーズ・グリーン	緑ヶ丘地域福祉センター	近況報告、歌	第2土曜日 14回開催
32	上布田大好きOG/OB会	上布田自治会館	情報交換、竹細工、そば打ち	第1、第3月曜日 22回開催
33	染地ふれあいサロン	染地ふれあいの家	10筋体操、映画会	第3水曜日 16回開催

第1部 第2地域福祉

34	サロン木洩れ陽	こころの健康支援センター別館	食事、おしゃべり	第2金曜日、第4月曜日 17回開催
35	の～んびり茶の間	多摩川住宅口7号棟A・B・C集会室	茶話会	第1日曜日 12回開催
36	手話でひだまり in 富士見	富士見地域福祉センター	手話の勉強	第4土曜日 ※活動休止中
37	自主トレたんぽぽ	富士見地域福祉センター	体操	毎週木曜日 24回開催
38	なかま🌱町づくり	深大寺東第一自治会集会場	おしゃべり、作品作り	毎週水曜日 39回開催
39	金子ひだまり	国領3丁目第2アパート集会所	輪投げ	毎週水曜日 48回開催
40	くすのき絆サロン	くすのきアパート集会室	水彩画、茶話会	第1、第3月曜日 24回開催
41	メイプルカフェ	メドウイン調布	座談会	第2、第4水曜日 24回開催
42	多摩川太陽グループ	下石原地域福祉センター	手芸、出前講座	第2木曜日 10回開催
43	花カフェ	美容院ラリス、そんぽの家S調布	介護の情報交換	第1、第3火曜日 22回開催
44	みかん健康体操	ライフタウン国領集会室	体操、脳トレ	月2～3回月曜日 26回開催
45	ポーノ・ポーノ	たづくり	アープ体操	第3火曜日、第3日曜日 18回開催
46	くすのき健康麻雀サロン	くすのきアパート1号棟集会室	麻雀	毎週木曜日、第1、第3土曜日 71回開催
47	若葉カフェ	東部公民館	おしゃべり	第3水曜日 11回開催
48	なごみ深大寺	深大寺地域福祉センター	折り紙、工作	第4金曜日 12回開催
49	なんてったってクラシック	染地地域福祉センター	音楽鑑賞	第3水曜日 12回開催
50	わかくさサロン	都営八雲自治会館	近況報告、脳トレ	第3土曜日 12回開催
51	ふじみ手芸とおしゃべりサロン	富士見地域福祉センター	手芸、おしゃべり	第2、4水曜日 21回開催
52	うたごえ喫茶 in 富士見	富士見地域福祉センター	おしゃべり、歌	第3土曜日 11回開催

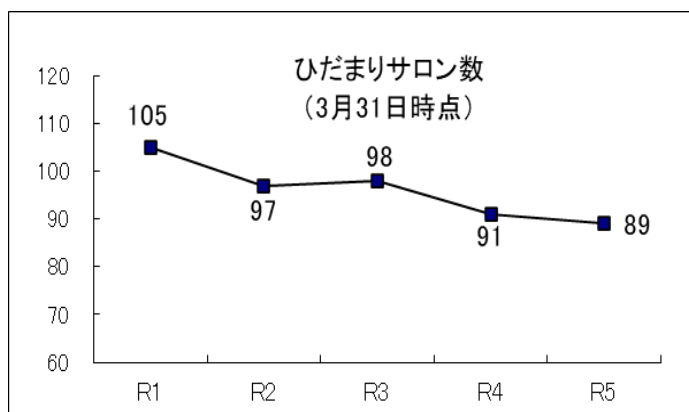
第1部 第2地域福祉

53	オアシス深大寺	個人宅	手芸、茶話会	第1月曜日 10回開催
54	テラ多摩川サロン	フィットネス&カルチャースタジオ Terra	体操	第1、3火曜日 24回開催
55	サン歩会	個人宅	散歩、茶話会	第1木曜日 12回開催
56	おひさまカフェ	個人宅	園芸、手芸	第3金曜日 10回開催
57	くすのきひだまり	くすのきアパート 集会室	カラオケ	第2、4月曜日 24回開催
58	早朝体操会	市役所前庭	体操、太極拳	土曜日を除く毎日等 24回開催
59	りはびり麻雀の会	染地地域福祉 センター	麻雀	毎週火曜日 24回開催
60	AMKふれあいネット ワーク	朝日マンション国 領の諸施設	散歩、体操、情報交換	活動項目により様々 (毎週~1回/年) 40回開催
61	杜と光のサロン	アトラス調布	モルック	第2木曜日 12回開催
62	エンジョイピンポン	富士見地域福祉 センター	ピンポン	毎週土曜日 51回開催
63	山野園芸サロン	神代の杜、農園等	園芸	第1、第3火曜日 第2、第4土曜日 41回開催
64	ほっとカフェ談	西部地域福祉 センター	交流、読み聞かせ	第3金曜日、 第5週目のいずれか開催 21回開催
65	談楽バードカフェ	富士見地域福祉 センター	川柳、ピンポン、談笑	第4火曜日 12回開催
66	ひだまりテニス	市民多摩川テニス コート	テニス、交流	第2、4火曜日 24回開催
67	寿会	緑ヶ丘地域福祉 センター	近況報告、相談	第2金曜日 9回開催
68	友悠麻雀初心者 クラブ	緑ヶ丘地域福祉 センター	麻雀	第2月曜日、第3水曜日、 第4金曜日 36回開催
69	ズッキーニ	布田老人憩いの家 茶室	ウクレレ、ペン習字	第2、第4月曜日 19回開催
70	手話ダンスすずらん サロン	緑ヶ丘地域福祉 センター	交流、手話ダンス	第1、第3木曜日 14回開催

第1部 第2地域福祉

71	ひだまりあみもの	ライフタウン国領 集会室	あみもの、交流	第1、第3金曜日 24回開催
72	CoGo オアシス	調布市こころの健 康支援センター	おしゃべり、ゲーム、 音楽	第3土曜日 17回開催
73	みんなよってっ亭	くすのきアパート 4号棟集会室	懇談、10筋体操	第2、第4火曜日 24回開催
74	ハッピーマニア	菊野台地域福祉 センター	ストレッチ、ズンバ	第3日曜日 11回開催
75	ひまわりテニス日曜 日クラブ	神代中学校テニス コート、深大寺テニ スコート、多摩川テ ニスコート	テニス、交流	第1火曜日、第1木曜日、 第4日曜日 24回開催
76	サロンハイム	神代植物公園 他	散歩	第2日曜日 7回開催 ※令和5年度解散
77	まちかどサロン	緑ヶ丘地域福祉 センター	体操、朗読、散歩、広 報誌発行	第3火曜日 12回開催
78	飛田給ひまわりの会	西部公民館、西部地 域福祉センター、上 石原保育園	体操、折紙、工作、勉 強会	月2回（曜日不定期） 12回開催
79	メリーゴーランド	たづくり	外国人との交流歓談	第1木曜日、第3火曜日 24回開催
80	三火会	野ヶ谷ふれあいの 家	茶話会	第3火曜日 12回開催
81	みんなの体操サロン	西部地域福祉 センター	体操、茶話会	第4木曜日 12回開催
82	子育てランチうさく んち	個人宅	食事、子育て、相談	第2火曜日、第3水曜日 24回開催
83	うたごえサロン金子 の里	国領3丁目第2アパ ート集会所	交流、歌	第4木曜日 12回開催
84	2・4火曜会	深大寺こもれび	10筋体操・茶話会	第2、第4火曜日 22回開催
85	けやきぶんこ	西部地域福祉 センター	絵本、子育て、おしゃ べり	第2金曜日 12回開催
86	上石原ひだまり	上石原ふれあいの 家、飛田給メモリー ド	10筋体操、茶話会	第2、第4火曜日 23回開催
87	めだかの学校	八雲台ふれあいの 家、調布市市民プラ ザあくろす	10筋体操、茶話会	第1、第3火曜日 23回開催

88	サロン・ド・わきあいあい	調布南キリスト教会→圓福寺	茶話会、工作、 10筋体操	第1、第3火曜日 18回開催 ※10月から月2回開催
89	サロンひかるげんじ	光源寺香ホール	10筋体操、講座	第3水曜日 11回開催
90	みんなDEネットサロン	ノートルダム修道院「友愛の家」(オンライン参加可)	パソコン、スマホに関する情報交換、茶話会	第3水曜日 12回開催
91	かわせみ会	都営入間町2丁目アパート集会室	10筋体操、茶話会	毎週金曜日 43回開催
92	スマホを楽しむ会	緑ヶ丘地域福祉センター	スマホを教え合う、交流会	第2、第3土曜日 24回開催 ※令和5年度新規立ち上げ
93	スマイル	八雲台ふれあいの家、調布市市民プラザあくろす	手縫い製作、あみもの	第2水曜日 11回開催 ※令和5年度新規立ち上げ
94	野川サロン	深大寺にぎわいの里	茶話会	第3金曜日 4回開催 ※令和5年度新規立ち上げ



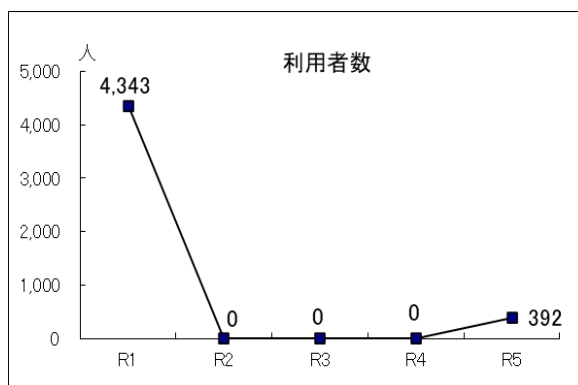
分析・課題

- スタッフ・参加者の高齢化により、継続的な活動が困難となっているサロンが増えている。サロン活動の継続を図るため、地域支え合い推進員、地域福祉コーディネーター及びボランティアコーディネーター等がより一層連携していく必要がある。
- 幅広い世代にひだまりサロンの活動を伝え、参加の機会をつくるため、調布社協及び市民活動支援センターホームページの活用、ひだまりサロン紹介冊子等の構成及び配架先の見直しを図る必要がある。
- 現在、地域活動やサロン活動経験者で構成されたひだまりサロン応援スタッフ(5人)とともに、サロン活動の広報や運営について2か月に1回、定例会を設けている。今後、応援スタッフを各福祉圏域から募り、各サロンのニーズを把握に努め、より一層ニーズに即した活動を展開していくことが求められる。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	高齢者会食サービス		市		○

結果の概要

- 新型コロナウイルスの影響により令和2年度～令和4年度の会食サービスは全て休止としていたが、令和5年度は可能な活動拠点から順次活動を再開。10拠点中7拠点で月1～2回、ボランティアによる利用者への食事提供を行った。
- 活動の再開にあたり、各拠点でボランティア意見交換会を実施。提供する料理や活動回数など、実際に活動されるボランティアの方々と再開に向けて意見交換を行った。
- 月1回の活動となる拠点、活動休止が継続している拠点の利用者については、引き続き電話による安否確認を実施した。
- 利用者の安否確認において深刻な状況は無かったが、様子が心配な方については地域包括支援センター等関係各所と連携し対応している。
- 令和5年度末には、活動の振り返りを各拠点でボランティアと実施。令和6年度に向けた課題の整理を行った。



実績等

地域福祉センター	利用者数 (人)	実施曜日	会食実施回数	ボランティア数 (人)	安否確認電話回数
菊野台	9	火	年間 15 回	6	214 回
深大寺	4	火	年間 0 回	1	76 回
下石原	7	水	年間 14 回	9	142 回
富士見	6	水	年間 6 回	2	188 回
染地	13	水	年間 13 回	15	154 回
西部	4	木	年間 13 回	15	103 回
調布ヶ丘	8	木	年間 0 回	3	88 回
緑ヶ丘	8	木	年間 7 回	4	169 回
入間	13	金	年間 7 回	7	272 回
金子	8	金	年間 0 回	0	175 回
	計 80 人		計 75 回	計 62 人	計 1,581 回

※利用者数及びボランティア数は令和6年3月31日現在の人数

分析・課題

- 各拠点での課題や実施方法を検討・分析し、ボランティアの方々の意向を尊重しながら再開を目指した結果、休止前と同様、ボランティアによる利用者への食事提供を実施することができた。一方で、それぞれの拠点ごとに進め方や月の活動回数が異なっていたため、状況把握や担当職員間の情報共有の難しさがあった。
- 活動の長期休止によるボランティアのモチベーションの低下や利用者の高齢化により、活動再開が困難となっている拠点がある。令和5年度に活動を再開できた拠点でも、ボランティアの高齢化が目立

ち人員不足が課題となっている。安定した事業運営をするためにも新たなボランティアの担い手を確保していく必要がある。

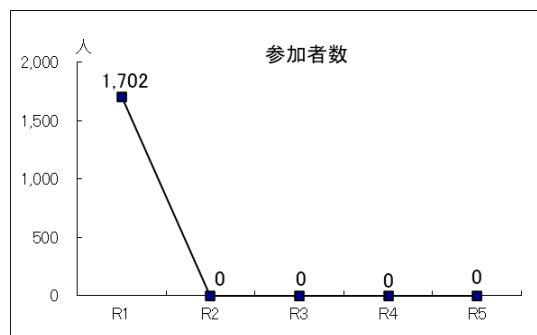
○ボランティア不足により活動再開が難しい拠点の利用者について、別事業や新たに通うことのできる地域資源を活用し、地域支えあい推進員等と連携しながら見守りの目が途切れないよう配慮していきたい。

○材料費と調味料代について、2か月に1回出納日を設け精算する形で進めたが、レシート・領収書の紛失やボランティアによる材料費立替え、ポイントカードの利用等、会計上のミスが多発。その都度、資料やマニュアルを作成し、ボランティアへ説明・配布する等の注意喚起を行ったが、令和6年度も引き続き注意しながら会計処理を行う必要がある。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)	高齢者会食ミニデイサービス		市		

結果の概要

○新型コロナウイルス感染拡大予防のため、令和5年度
のミニデイサービスは全て休止とした。



分析・課題

○高齢者会食と連動して再開の検討を進めてきたが、安全な運営体制の確保等、事業再開の見込みが立たないため、今後は高齢者会食の一環として活動拠点のニーズがあれば実施を検討することとする。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(4)	小地域交流事業	会費			○

結果の概要

○事業実施は、各地域の実行委員会に委ねるものとし、各圏域の第6次調布市地域福祉活動計画と併せて実施内容を検討した。また、中止の場合も次年度以降の開催に向けて地域の特性を生かしどのように進めていけるのか実行委員会で討議した。結果13か所中、9か所が通常開催もしくは例年に近い形での開催となった。久しぶりの開催となった拠点や新たなイベントを実施した拠点もあり、多くの方が来場し、盛況のうちに終了した。

実績等

地域福祉活動計画圏域	地域名（会場）	通常事業名	内容（別企画含む）
緑ヶ丘・滝坂小	緑ヶ丘地域福祉センター	緑ヶ丘・仙川地域ふれ愛のつどい（パート1）	通常の規模で開催、飲食ブースも復活した。当日は400人以上が参加。パート2の開催も視野に実行委員会を開催したが、準備期間の不足等から中止。パート1のみの開催。
		緑ヶ丘・仙川地域ふれ愛のつどい（パート2）	

若葉・調和小	入間地域福祉センター	三世代輪投げ大会	例年開催は中止。
		入間はつらつ地域まつり 新春お茶会	「若葉縁日（共催事業）」を若葉小学校にて開催。入間小地域実行委員会は金魚すくいと駄菓子ブースを担当。
	金子地域福祉センター	①金子バリアフリー映画体験会 ②金子ふれあいまつり	例年通り、開催。 ① 「ドルフィンブルー」を上映。 ② 舞台発表・スタンプラリー・手作り品の販売を実施。200人以上が来場。R6年度はバリアフリー体験会・ふれあいまつりに加えて、「ありがとうコンサート」を実施予定。
上ノ原・柏野小	菊野台地域福祉センター	菊野台地区地域のつどい	実行委員向けに「地域の歴史スライドトーク」を開催。
	調布ヶ丘地域福祉センター	調布ヶ丘わくわく広場 ～未来につなげよう～	調布ヶ丘地域福祉センター改修工事後、4年ぶりのお祭り形式での開催。目玉は舞台発表や特製おでんの販売。
第二・八雲台・国領小	国領小学校	国領わいわいまつり	「これまでも そしてこれからも つなげよう！ 地域の輪」をスローガンに、飲食テントや子どもボランティアも再開、約900人が来場した。
北ノ台・深大寺小	深大寺地域福祉センター	ふれあいフェスタ北ノ台	北ノ台まちづくりネットワーク役員会で協議の上中止。次年度以降の見直しを図る。
	深大寺小学校	深大寺ふれあいのつどい	実行委員会にて中止決定。令和6年度の開催に向けて12月より実行委員会をスタートさせた。
第一・富士見台・多摩川小	下石原地域福祉センター	下石原地区ふれあいのつどい	感染対策を講じたうえで数年ぶりに開催。来場者数は100人を超えた。
染地・杉森・布田小	こころの健康支援センター	布田わくわくひろばまつり・地域のつどい	例年のまつり形式の開催に加えて、布田わくわく活動展も実施。感染症対策を講じたうえで、飲食物の販売や食事スペースを用意した。
	染地地域福祉センター	ボランティアまつり染地	染地地域福祉センターにて、そめちマルシェを開催。約800人が来場、野菜の販売や舞台発表を行なった。パート2や別企画の実施はなし。
第三・石原・飛田給小	富士見地域福祉センター	富士見ふれあいのつどい	富士見地域福祉センターにて通常開催。来場者数は500人となった。

	第三小学校 体育館	西部ふれあいのつど い	感染対策を講じたうえで、会場を西部地域福祉センターに戻し、従来通りの内容にて開催。
--	--------------	----------------	---

分析・課題

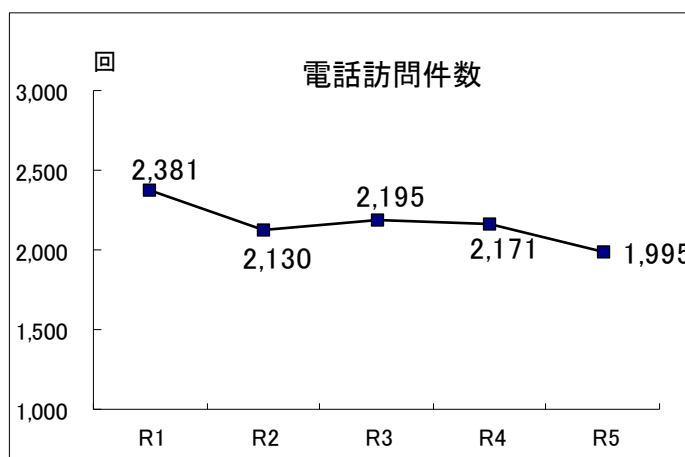
- 通常開催や例年に近い形で開催する地域が増え、令和5年度は中止とした拠点についても令和6年度の開催に向けて引き続き検討を進める。
- 従来のイベントも代替企画も、中止が続いてしまうと地域のつながりの希薄化や地域の担当者の変更等で、再開が難しくなってしまう可能性もある。つながりの維持や新たな人材の発掘が課題となる。
- 多くの地域で実行委員の高齢化が課題となっている。若い世代や新たな担い手の発掘が必要である。
- 拠点の地域特性や工夫を凝らし、各地域の状況に合わせた取り組みを第6次調布市地域福祉活動計画と併せて実施していく。
- ふくしの窓や市報等従来の広報媒体に加え、SNSも活用し、お祭りや地域の活動について広く周知していく。

3 住民主体の訪問活動

番号	事業名	財源			
		自主	補助 市	委託	事業
(1)	ほのぼの電話訪問				

結果の概要

- 電話訪問員9人（月曜日1名欠員あり）が平日の午前中、利用者に電話を掛け安否確認を行うとともに、話をすることで孤独感の緩和を図った。
- 夏季期間においては、熱中症への注意喚起と情報提供を、訪問員を通じて利用者へ行った。
- 死亡や施設入所、他サービスとの重複等の理由で利用中止となった方が15人いた。
- 高齢者見守り事業（ふれあい福祉相談員、電話相談員、ほのぼの電話訪問委員）に協力いただいているボランティアを対象とした合同研修を実施、電話訪問からも6名の訪問員が参加した。
- 訪問員の情報交換や事例検討・共有の場として実施している電話訪問員会議は当初予定通り年5回開催した。
- 訪問員に1名の欠員が生じており、担い手を探している。



実績等

- 利用実績

月	利用者数(人)	訪問回数(回)	月	利用者数(人)	訪問回数(回)
4月	50	177	10月	47	164
5月	49	165	11月	48	157

6月	49	178	12月	46	154
7月	47	169	1月	44	150
8月	48	186	2月	44	160
9月	48	171	3月	45	164
			合計	563	1995

※電話訪問員からの午前中の電話に回答がなく、午後から安否確認をした件数 89件

○電話訪問員会議・研修

月 日	項目	内容
4月18日	第1回電話訪問員会議	事務連絡、近況報告・事例検討
7月19日	第2回電話訪問員会議	事務連絡、近況報告・事例検討
9月21日	第3回電話訪問員会議	事務連絡、近況報告・事例検討
11月10日	第4回電話訪問員会議	事務連絡、近況報告・事例検討
3月11日	第5回電話訪問員会議	事務連絡、近況報告・事例検討

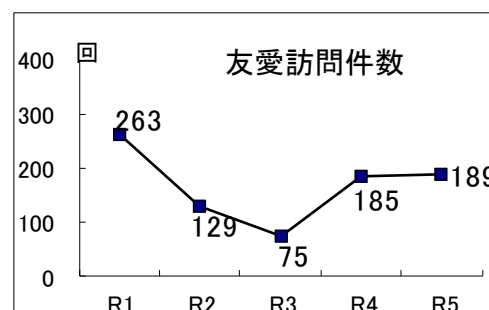
分析・課題

- 電話による訪問であることから、感染症等の影響を受けることなく事業継続できており、主にひとり暮らし高齢者の安否確認としても有効に機能している。今後もサービスの周知を積極的に図りたい。
- 訪問員においては年度内で新たに2人が就任。ただし、欠員状態は変わらないため早急に担い手を探している。また、訪問員の高齢化も進んでおり、安定した事業継続のためにも次世代の担い手を発掘したい。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	友愛訪問事業		市		

結果の概要

- 友愛訪問員が、週1回1時間程度高齢者宅を訪問し話し相手となることで、孤独感の緩和と社会との繋がりづくりを図った。
- 訪問員から報告のあった利用者の心身の変化を家族や社協内他部署、地域包括支援センター、ケアマネージャー等に伝え、情報共有や連携を図った。
- 訪問員を通じて、熱中症予防や防災・防犯等の注意喚起と情報提供を適宜行った。
- 新型コロナウイルス等の感染症対策として、訪問員へマスク着用等の継続を依頼し、訪問を実施した。
- 新型コロナウイルスが5類に移行したことで、訪問対応はコロナ前の状況に戻ったが、訪問員の事情による活動休止に伴い、訪問件数は前年度とほぼ横ばいだった。



実績等

月	利用者数 (人)	訪問 (回)	友愛訪問員連絡会		
			回数	日付	内容
4	9	19	1	12日	委任式、新年度体制、活動報告、情報交換等

5	9	19	1	10日	活動報告、情報交換等
6	9	22	0		なし
7	9	18	1	12日	活動報告、情報交換等
8	8	20	0		なし
9	9（休止中1）	17	1	6日	活動報告、情報交換等
10	8	16	0		なし
11	8（休止中2）	11	1	8日	活動報告、情報交換等
12	8（休止中2）	11	0		なし
1	8（休止中2）	12	1	10日	活動報告、情報交換等
2	7（休止中1）	11	0		なし
3	7（休止中1）	13	1	13日	1年の振り返り、活動報告、情報交換等
計	99 (登録延数108)	189	7		

分析・課題

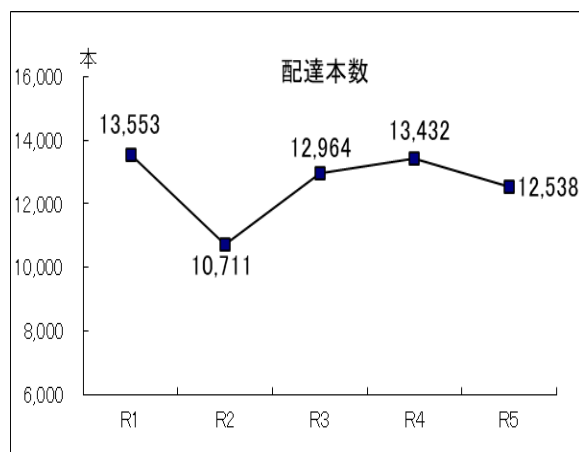
- 訪問員と利用者の増減や休止者がいたことにより、訪問回数が前半と後半で変動が生じた。
- 訪問員が高齢化傾向にあり、安全に活動できるよう活動環境（活動地域、利用者の担当数および訪問間隔）や健康面の配慮が必要と考えられる。
- 訪問員不足により常に待機者が控えている状況であり、訪問員の募集方法について今までとは異なる手段の検討が必要である。
- 新規訪問員獲得が求められるが、事業の性質上容易ではない。地域支援係やボランティアコーディネーター等とも連携し新たな担い手を発掘したい。

4 企業との協働活動

番号	事業名	財源			
		自主 歳	補助	委託	事業
(1)	見守りあんしん訪問事業				

結果の概要

- 週2回（月曜日と木曜日）ヤクルトレディが、ひとり暮らし高齢者宅を訪問し乳酸菌飲料の手渡しと声掛けで安否確認を行った。
- 令和5年度における配達本数の減少要因として、他サービスへの切替えや施設入所・長期入院、死亡等に伴う利用者数の減少に加え、例年に比べ新規利用者数も減少したことがあげられる。
- ヤクルトレディは引続きマスク着用や手渡し前の手指消毒など、感染対策を実施しながら訪問した。
- ヤクルトレディが訪問先の異変や利用者の変調を察知した際の社協への緊急連絡が徹底されていた。
- 訪問状況の把握やスムーズな利用につなげることを目的とした、東京ヤクルト販売(株)市内配達区域、3センターとの意見交換を実施しサービスの向上に努めるよう、その方向性を共有した。



○東京ヤクルト販売(株)、緊急連絡先、民生児童委員、ケアマネージャー、地域包括支援センターおよび地域福祉コーディネーターなどと連携し、ひとり暮らし高齢者の安心のみならずご家族の安心にもつなげることができていた。

実績等

月	利用者数 (人)	配達本数 (本)	支払金額 (円)	安否確認 (件)	月	利用者数 (人)	配達本数 (本)	支払金額 (円)	安否確認 (件)
4月	194	1,154	99,712	32	10月	184	1,099	94,953	36
5月	188	1,005	86,855	32	11月	182	1,100	95,040	42
6月	187	1,288	111,334	47	12月	179	952	82,252	40
7月	187	1,144	98,846	38	1月	178	791	68,342	33
8月	187	992	85,732	30	2月	173	1,043	90,115	38
9月	182	986	85,473	35	3月	171	984	85,017	16
※利用者数には休止者を含む					合計	2,192	12,538	1,083,671	419

○安否確認の件数は419件であった。(令和4年度:446件/令和3年度:422件/令和2年度:303件)

職員の自宅訪問による安否確認は2件あったが自宅にて直接ご本人とお会いでき問題なかった。

その他の安否確認者においては全てご本人および御家族への電話連絡にて安否確認が行えた。

○新型コロナウイルス感染者数の減少と感染対策の緩和措置の影響により、利用者の外出機会が増加傾向にあるものの、利用者数の減少にともなって安否確認数も減少傾向にある。

○令和5年10月東京ヤクルト販売(株)より令和6年度以降のサービス提供について大幅な条件変更の提示があり、変更に伴い本事業の主目的である安否確認・見守り機能が十分に果たせないこと、また経費増に伴い予算の確保が難しいことから、令和5年度末をもって事業を終了することとなった。事業の終了に関しては、全利用者及びその緊急連絡先へ郵送で通知するとともに、他のサービスへの移行を促した。また、事業に協力いただいている民生児童委員に対しては通知でのお知らせに加え、各地区協議会にて説明を行った。

分析・課題

○ヤクルトレディの協力により、長年市内のひとり暮らし高齢者等の安否確認・見守りの役割を果たしてきた。また、必要と思われるサービスや支援の受け入れに拒否的な方やその家族・支援者にとっては、支援へつなげるきっかけとして有効に機能していた。

○利用者自身の新型コロナウイルス感染対策により利用者の外出機会や会話の機会は減ったが、ヤクルトレディの訪問と声掛けや会話は、ヤクルトレディと利用者との繋がりをより強固なものとしていた。

○本事業の終了により、他のサービスを利用しておらず見守りサービスが途切れてしまう方については、ご家族や地域包括支援センター等支援機関と連携して次のサービスへつないでいく必要がある。

○孤独死や孤立死は依然社会問題となっており、見守りが行き届いていない高齢者に対する新たな見守りサービスの構築とその提供が必要と思われる。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	高齢者訪問理美容サービス		市		

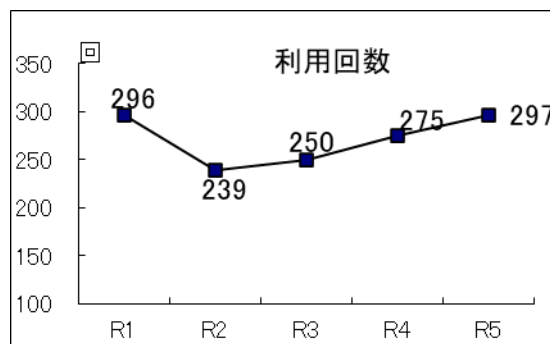
結果の概要

○従事者のサービスの質を高めるため、理容組合・美容組合の会員を対象に、『感染症に対する注意点』『認知症のかたへの接し方』等をテーマに研修会を実施した。美容組合のみ、多摩府中保健所の衛生講習も同日に実施した（保健所の講習は美容組合が調整）。

○サービス対象外である要介護2以下の方からの「実費でも訪問理美容を依頼したい」という問い合わせ

には、以前に引き続き協力理容店と美容組合の「福祉美容サービス」を紹介する等の対応をした。

○ふくしの窓、市報に事業の利用案内を掲載した。



実績等

○利用回数 297回（理容116回／美容181回）

○申請者数 176人（令和4年度171人）

○理美容券を全て使用した人は40人であった（申請者数の約22%）。令和4年度より、7人増加した。

分析・課題

○令和5年度は令和4年度に比べて、申請者数が5人増加し、利用回数は22回増加した。対象外の方からの問い合わせも依然あり、今後も続くと思われる。

○利用者アンケートを実施したところ「自家用車もなく、移動は車椅子ですので、訪問していただいても助かっています」「母の表情がとても明るくなり、お願いして良かったと思った」等、サービス内容に満足しているという回答が多く、訪問による調髪ニーズの高さがうかがえた。

○訪問調髪ニーズが高い一方、協力理容店の減少が課題である。

5 人材育成

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	手話講習会事業		市		○

結果の概要

○入門・基礎・養成（基本・応用）の全てのクラスを開催した。

○手話講習会開催にあたり、令和4年度に引き続き感染症対策として下記の対応を行った。

- ・1回の授業を1.5時間から2時間に延長し、厚生労働省の手話奉仕員及び手話通訳者の養成カリキュラムの規定時間に基づき、各クラス受講回数を削減
- ・感染症対策として受講生全員にフェイスシールドを、講師と世話人に眼鏡型低反射フェイスシールドを配付
- ・館内空調とサーキュレーターによる換気
- ・授業開始前及び終了後の世話人による消毒作業

- 新型コロナウイルスの影響で中止していた入門クラス・基礎クラス合同の開講式、閉講式を再開した。
- 令和5年度手話講習会養成クラス選考試験は19人が申込み、18人が受験し、12人が合格となった。
- 手話講習会・手話通訳者試験等検討会を立ち上げるため準備会議体を開催した。

実績等

○講習課程

入門クラス18回・基礎クラス23回・養成クラス27回の講習会を開催した。

- ア 技術取得 入門17回・基礎22回・養成基本26回
- イ 学習発表会 中止
- ウ クラス別講演会 年1回
- エ 全体講演会 中止

○受講者数

	コース名	定員	受講者数(人)	修了者数(人)
火曜日 昼間	入門	25人程度	24	21
	基礎	20人程度	16	11
	養成応用	10人程度	8	8
金曜日 夜間	入門	25人程度	24	17
	基礎	20人程度	22	17
	養成基本	15人程度	10	10
合計		105人程度	104	84

○講師会

6月、10月、2月に開催

○世話人会

5月、9月、2月に開催

○講師研修

3月に開催

第1回	秋吉昭良氏	手話通訳新規登録者選考試験について
第3回	(調布市聴覚障害者協会)	
第2回	野口岳史氏 (国立障害者リハビリテーション学院)	手話教師に求められる資質と能力とは

分析・課題

- 手話普及コースの入門・基礎クラスは幅広い層が参加した。クラス別講演会やろうゲストを招いての授業を通して、障がい理解の促進、受講生の学習意欲の向上や受講生同士の交流を図ることができた。
- より一層の手話の普及と手話通訳者の養成を図るため、講師・世話人の確保やクラス編成等の課題について検討を進めていく必要がある。
- 令和6年度から全体講演会や学習発表会等のイベント再開を検討する。
- 手話講習会や手話通訳者試験に関する課題について検討し、事業運営の一層の充実を図ることを目的に、令和6年度から手話講習会・手話通訳者試験等検討会を発足する。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	研修の場の提供				

結果の概要

○社会福祉の実践・実習教育として、大学等の各種学校に協力し、実習生の受け入れを行った。

実績等

○令和5年度実習生受入校・企業（年度当初の受入予定校含む）

No.	学校	人数	No.	学校	人数
1	桜美林大学	1人	8	東京都立大学	1人
2	日本社会事業大学	1人	9	法政大学	1人
3	駒澤大学	1人	10	ルーテル学院大学	4人
4	日本大学	1人	11	東京農業大学	2人
5	立教大学	1人	12	調布特別支援学校	18人
6	目白大学	1人	13	慈恵第三看護専門学校	25人
7	武蔵野大学	1人			

※No.1～10は社会福祉士実習、No.11は介護等体験、No.12は就業体験、No.13は臨地実習（老年看護学）

※上記以外に、調布市役所が受け入れた社会福祉士実習生2人が社協で実習した。

※中学生の職場体験については、実習依頼なし。

分析・課題

○社会福祉士実習については、令和4年度実習より受け入れ体制を長期分散実習とし、期間は8月24日～12月15日で行った。（180時間以上）また、地域をフィールドとしたソーシャルワークを多様な事業を通じて展開している法人の特性を踏まえ、当事者・地域へのかかわり方など専門性を学んだ。長期間であるため、中間振り返り、最終振り返りを通して学生の学習意欲の確認や各大学の指導教員とも連携しながら今後も取り組む必要がある。社会福祉士実習については、令和4年度実習より受け入れ体制を長期分散実習とし、約4か月間にわたる8月25日～12月16日とした。（180時間以上）

6 団体支援等

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	地域福祉活動支援事業			市	

結果の概要

○地域で活動を行っている団体に対して、活動の充実、発展を支援するための助成事業を実施。

○申請4団体のうち4団体が書類選考を通過。公開プレゼンテーション等を経て、令和5年度は3団体に対し助成が実施された。

○年度末の活動報告会では、各団体がお互いの報告を聞き、その後の交流会ではそれぞれの団体が抱える課題等について活発な情報交換が行われた。また5年ぶりに過去助成団体で現在も活動を継続・発展させている団体をゲストスピーカーとして呼びし、これまでの活動実績、団体運営の秘訣等をお話しいただいた。

実績等

○選考

日 程	令和5年4月15日
参加人数	16人
場 所	調布市総合福祉センター2階 201～203 会議室
内 容	応募団体の公開プレゼンテーションにより、検討評価委員が選考。 3団体に対する助成が決定された。

○助成団体（3団体）

団体	活動内容
おんがく広場	高齢者の集いの場、交流の場を作り、高齢者の孤立化や引きこもりの防止を目的として活動している。西部地域福祉センターやたづくりにて、楽しみながら脳トレと身体活動を行っている。
調布 LGBT & アライの会	当事者同士、当事者と支援者、支援者同士のセルフヘルプグループとして、より充実した共生社会を目指して活動している。外部講師を招き LGBT 講座を開催したり、お話を定期的に開催している。メールや電話での相談も無料で受け付けている。
介護ラボしゅう	ゴミ拾いをきっかけに、福祉が特別なことではなく身近なものであり、ジブンゴトにできるような啓発活動をさまざまな年代に広げることを目的に、令和5年度に新たな事業を始める。

○活動報告会

日 程	令和6年3月24日
参加人数	18人
場 所	調布市総合福祉センター2階 201～203 会議室
内 容	助成団体3団体がこの1年の活動を報告。 卒業団体がゲストスピーカーとして助成終了後の活動を報告。 後半部分は交流会とし、団体同士の横の関係づくりに役立てた。 最後に検討評価委員により講評をしていただいた。

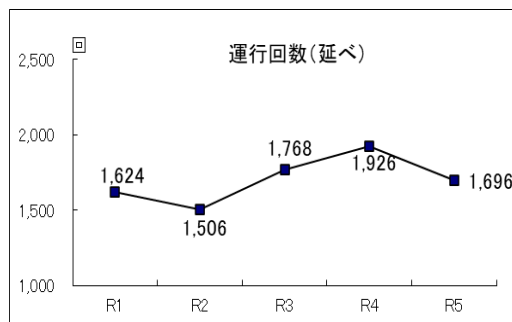
分析・課題

- 本助成事業は助成金支援だけではなく、新しい活動を行う団体活動全体の支援を目指している。地域福祉コーディネーターや地域支え合い推進員、また市民活動支援センターと連携して、包括的な支援をしていきたい。
- 様々な助成制度ができており、申請をする助成金の選択肢が増えている。そのため当事業への申請が顕著に減少しているため、効果的な広報を考えていくことが課題である。

番号	事業名	財源			
		自主 歳	補助	委託	事業
(2)	福祉有償運送に係る補助金交付事業				

結果の概要

- 既存の交通機関を利用して外出することが困難な市民の在宅援護の一助として実施する福祉有償運送を行うNPO法人への運営費補助を行った。
- 補助金交付団体と利用状況や運営状況について必要に応じて情報提供した。



分析・課題

- 補助金交付団体の課題に対し、地域支え合い推進員と連携をとりながら状況に応じて支援を行う。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)	調布市老人クラブ活動支援事業			市	

結果の概要

- 新型コロナウイルスの影響による活動の制限は殆ど見られないが、飲食を伴う「新春のつどい」のみ中止とした。
- コロナ禍で活動ができない時期が3年あったため、その間に僅かながら世代交代が行われた。これまで積極的に準備などをしてくれた会員が引退し経験のない会員が増えたため、準備の段階で多少の混乱が見られた。
- 市老連広報誌「不老又新」を会員だけではなく、市役所高齢者支援室窓口、各地域福祉センター、老人憩いの家に配架をし、広く市民に周知できている。
- 社協とFC東京の赤い羽根共同募金の活動に参加し、老人クラブの櫻をすることでその名前を宣伝することができた。
- 事業の実施可否等、スピーディーな伝達が必要な情報について、調布市老人クラブ連合会ホームページを活用、いち早く情報をアップし会員に周知することができた。
- 令和5年4月現在 単位クラブ数 33クラブ 会員数 1,513人

実績等

1 会議関係	総会	4月20日	58人
	理事会	12回	延177人
	会長会議	2回	61人
	会計監査	4月7日	2人
	総務部会	隔月	延12人
	健康部会	3回	延11人
	文化部会	3回	延9人
2 市老連研修会	新任会長・役員研修会	中止	

		管外指導者研修会	6月29日	67人	
		会計相談会	中止		
3	友愛実践活動	友愛リーダー会議	3回	延22人	
		友愛実践活動研修会	3回	延133人	
4	グラウンド ゴルフ大会	第26回大会	10月20日	122人	
		専門委員会	2回	延38人	
	グラウンド ゴルフ練習	毎週水曜日 調布基地跡地運動場 自由広場		自由参加	
	ペタンク大会	第45回大会	中止		
		専門委員会	1回	4人	
	輪投げ大会	第60回大会	10月26日	138人	
		専門委員会	2回	延18人	
	みんなの健康 教室	教室	4回	延208人	
		専門委員会	4回	延38人	
	ポッチャ教室	練習	5回	延75人	
健康吹き矢教室	練習	10回	延43人		
5	将棋大会	将棋大会	中止		
		専門委員会	中止		
	囲碁大会	囲碁大会	9月4日	24人	
		専門委員会	2回	延16人	
	俳句大会	俳句大会	郵送による大会を実施		49人
		専門委員会	1回	3人	
	会員作品展	会員作品展	9月15日～19日	419人	
		専門委員会、反省会	3回	43人	
	芸能大会	第55回大会	11月15日	437人	
		リーダー会議	2回	延12人	
	カラオケふれ あいの集い	第31回カラオケふれ あいの集い	2月22日	353人	
		準備委員会	2回	11人	
	不老又新	不老又新夏号、新春号の発行		年2回	
	歴史教室	歴史教室	6回	延127人	
		専門委員会	3回	延12人	
囲碁教室	練習・実践	16回	延106人		
英語に親しむ 会	講義	5回	延10人		

	日帰り旅行	清里テラス・勝沼	61人	
	一泊旅行	中止		
6 女性部	女性部全体会	1回	54人	
	女性部常任委員会	5回	延65人	
	女性部ブロック会議	4回	延179人	
	調布よさこい	8月26日	23人	
	東老連シニアフェスタ	11月21日	37人	
	女性部おたのしみフェスタ	3月15日	131人	
7 その他	木島平村交流	中止		
	玩具の伝承	調布よさこい	8月26日	13人
		福祉まつり	12月3日	12人
		多摩小昔遊び	11月30日	11人
		富士見台小昔遊び	1月18日	8人
		実行委員会	計4回	延50人
	新春のつどい	式典・懇親会	中止	
	敬老会	中止		
8 東京都老人クラブ連合会関係	女性部全体会	5月18日	2人	
	東老連輪投げ大会	6月22日	10人	
	関東甲信越静岡ブロック老人クラブリーダー研修会	7月11・12日	1人	
	東老連レクダンス講習会	7月24日	5人	
	東老連手作り品講習会	7月31日	2人	
	東老連女性リーダー研修会	9月5・6日	1人	
	東老連ペタンク大会	10月18日	6人	
	東老連グラウンド・ゴルフ大会	11月10日	6人	
	東京都老人クラブ大会	12月7日	5人	
	東老連賀詞交歓会	1月10日	3人	
全国老人クラブ大会	11月8・9日	1人		
9 東老連多摩地区第4ブ	多摩地区第4ブロック女性部推進リーダー会議	不参加		
	多摩地区第4ブロック会議	6月6日	7人	
	多摩地区第4ブロック軽スポーツ交流会代表者会議	1合同		
	多摩地区第4ブロック健康教室事業	2月27日	40人	
	多摩地区第4ブロック女性部会連絡会議	不参加		

ロ ッ ク 関 係	多摩地区第4ブロック軽スポーツ交流会輪投げ大会	10月24日	14人
	多摩地区第4ブロックシニアフェスタ練習	1回	27人

分析・課題

- 会員減少の原因の一つである会計処理問題への対策として、これまでは会計に不安をもつクラブが個別に相談できる「会計相談会」を実施してきたが、令和5年度は連合会担当者の体制が整わず実施できなかった。その代替策として、平成24年度に配布した「補助金の使い方簡単マニュアル」を、内容について市と確認した上で再発行した。今後は連合会側で相談会対応できる人員の増員を目指したい。またこの相談会に限らず、個別相談については引き続き応じていく。
- 会員が減少・高齢化しているクラブが増加しており、令和4年度から比べて1クラブが解散、1クラブが休会となった。単位クラブごとで若い会員を増やすには限界があり、連合会として率先して新しい活動を実施、紹介していく必要がある。令和6年度はeスポーツと麻雀教室を実施したいと考えている。
- 広報誌「不老又新」やホームページ等、従来の広報媒体に加え、若い世代の会員獲得のため今後はSNSも積極的に活用したい。
- リーダー不在で休会となっているクラブ、高齢化に伴い活動が少なくなっているクラブは、同じ地区協議会内で協力し活動の安定化を進めている。
- 「老人」という名前に抵抗を感じている方が一定数いることを鑑み、令和6年度から名称を「調布市老人クラブ連合会」から「調布市シニアクラブ連合会」へ変更することを予定している。それに伴い市民の方への周知のため「のぼり」と「ベスト」も新名称で製作予定である。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(4)	調布市障害者（児）団体連合会への支援				

結果の概要

- 評議員会や交流会、合同会議について内容を検討したうえで、全ての行事を開催した。

実績等

行事	実施日	実施回数	参加者	内容
会計監査	5月19日	年1回	監査2人 事務局4人	令和4年度会計監査
総会	6月14日	年1回	評議員12人 事務局4人	令和4年度事業報告及び決算 令和5年度事業計画及び予算
評議員会	○第1回 6月14日 ○第2回 11月30日	年2回	○第1回 評議員12人 事務局4人 ○第2回 評議員11人 事務局4人	○第1回 年間行事について ○第2回 交流会の振り返りと合同会議について

交流会	9月28日	年1回	加盟団体22人 来賓3人 事務局4人	○×ゲーム、ビンゴゲーム
合同会議	2月8日	年1回	加盟団体14人 京王電鉄2人 京王バス1人 市議会議員4人 民生児童委員2人 行政4人	「公共交通機関の利用」「振込詐欺」をテーマに、京王電鉄、京王バス、調布市総合防災安全課の話の後、グループごとに質疑応答を実施。

分析・課題

- 交流会や合同会議の開催は、同連合会加盟5団体相互の障がい理解を深める機会となっており、今後も継続的に交流の機会を作っていくことが大切である。
- 合同会議は関係機関と障がい当事者の相互理解を深める機会となっており、今後も障がい理解が広がり、深まるよう意見交換の機会を継続していく必要がある。

番号	事業名	財源			
		自主 基	補助 市	委託	事業
(5)	福祉団体等事業助成				

結果の概要

- 障がい者団体や高齢者団体等の会運営や事業に対し助成を行い、団体の活動を支援した。

実績等

- 団体助成、大会助成

No.	団体名	助成内容	助成額
1	調布市原爆被害者の会	会運営費・平和大会	20万円
2	調布市遺族厚生会	会運営費・平和祈念祭	28万円
3	共同募金調布地区協力会	会運営費	20万円

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(6)	機材の貸出				

結果の概要

- ボランティアグループ、福祉施設、公的機関等の事業に対して、テント、パネル、スクリーン等の社協機材の貸出を行った。
- 故障等への対応、貸出のルールの特化、物品ごとの色分け等、工夫を行ったことで、予約の重複等、大きな問題はなく貸出ができた。
- 折りたたみ式テントが、新たに貸出機材として増えた。

実績等

○貸出件数一覧

社協機材	貸出件数	社協機材	貸出件数	社協機材	貸出件数
テント（大）	127件	延長コード	105件	書画カメラ	27件
テント（小）	71件	移動式赤ちゃんの駅	10件	パネルフック	3件
テントウェイト	41件	ポップコーン機	48件	ビンゴ抽選機	2件
折りたたみ式テント	27件	ブルーシート	5件	拡声器	7件
折りたたみ式テント用テントウェイト	25件	ポッチャボール	31件	折りたたみ椅子	15件
Blu-ray プレイヤー	17件	CD ラジカセ	135件	スクリーン	210件
ワイヤレスアンプ	118件	有線マイク	21件	輪投げセット	21件
プロジェクター	210件	パネル	12件	譜面台	25件
冷水用ジャー	12件	パネル足	12件	合計	1337件

分析・課題

- 福祉活動の充実を側面から支援するため、貸出ルールの徹底及び貸出物品を使いやすく整備する。
- デスクネットの貸出予約ページを整備し、予約の重複等問題が起きないように徹底したい。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(7)	後援・共催事業				

結果の概要

- 市内各種団体が福祉活動を実施するにあたり、依頼に応じて後援を行った。

実績等

○後援事業一覧

No.	事業名	主催団体
1	劇団芸優座 第十回春の公演	株式会社 劇団芸優座
2	特定非営利活動法人 Smile up「聴くを届ける」	NPO 法人 Smile up
3	第18回 調布フィーリングアーツ ダンス&バレエライブ	調布フィーリングアーツ
4	第9回調布市伝統文化交流会	調布伝統文化伝承の会
5	楽しく歌って健康に誤嚥予防講座	ミライスタジオ OKA
6	チャリティーコンサート クミコ	国際ソロプチミスト東京-調布
7	第46回住宅デー	東京土建一般労働組合調布支部

8	巢立ち会 第17回愛のふれあいコンサート	社会福祉法人 巢立ち会
9	2023年度無料法律相談会	弁護士法人多摩パブリック法律事務所
10	合同企業説明会	パーソルテンプスタッフ株式会社
11	第55回東京都盲人福祉大会 調布市大会	公益社団法人東京都盲人福祉協会
12	第34回（令和5年度）福祉講演会	公益財団法人調布ゆうあい福祉公社
13	MOA美術館調布児童作品展	MOA美術館調布児童作品展実行委員会
14	令和5年度調布市障害者自立支援協議会講演会	調布市障害者地域自立支援協議会
15	それはおしゃれなコンサート	社会福祉法人 調布を耕す会
16	手作り市	手作り市
17	調布さくらウインドオーケストラ 第6回定期演奏会	調布さくらウインドオーケストラ
18	福祉映画上映会	調布市福祉作業所等連絡会
19	第9回 調和 SHC フェスタ	NPO 法人調布 SHC 倶楽部
20	第19回深大寺短編恋愛小説「深大寺恋物語」公募事業	深大寺短編恋愛小説実行委員会
合 計		20 件

○共催事業一覧

No.	事業名	主催団体
1	高齢者・障害者のための成年後見相談会	公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート東京支部
2	北ノ台ふれあい朝市	北ノ台まちづくりネットワーク
3	高次脳機能障害とともに奏でる 春の多摩マイ ンドフルコンサート2024	東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科
合 計		3 件

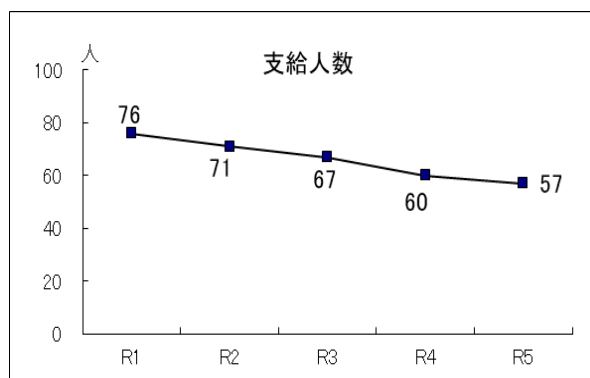
番号	事業名	財源			
		自主	補助 市総	委託	事業
(8)	健康支援金				

結果の概要

○健康支援金給付事業事務取扱要領に基づき、被爆者健康手帳の交付を受けている方に健康支援金を口座振込みにより給付し、福祉の増進を図った。

実績等

○支給人数57人



番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(9)	中央競馬馬主社会福祉財団助成事業				

結果の概要

- 平成24年度より中央競馬馬主社会福祉財団の公益財団法人の移行に伴い、NPO法人に関して直接助成が可能となった。引き続き無認可の施設に関しては社協からの申請・管理となる。
- NPO法人が申請を行う場合、当該施設の所在地域の社協の推薦状が必要となり、令和5年度は申請1件。
- 事業総額費の70%を財団が助成を行い、30%は施設の自己負担分となる。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(10)	招待事業				

結果の概要

- 企業、奉仕団体より、障がい者や高齢者、事業協力者に対する招待をいただき、社協が窓口となって、イベント等に招待している。

実績等

- 調布市花火大会への招待
東京調布ライオンズクラブよりチケットのご寄付をいただいた。
(招待団体)
特定非営利活動法人リフレッシュ工房、放課後等デイサービス ドリームボックス下石原、社会福祉法人調布を耕す会 しごと場大好き、調布市聴覚障害者協会、NPO 法人高次機能障がい者活動センター調布ドリーム、NPO 法人らぷらんど国領、調布市社会福祉協議会（調布市希望の家、地域福祉権利擁護センター、障がい者支援係）視覚障害者福祉協会、調布精神障害者家族会、NPO 法人調布心身障害児・者親の会、ぴいす
- 味の素スタジアムFC東京公式戦招待
招待はなかった。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(11)	調布市いきいきクラブ調理運営協議会事務局			市	○

結果の概要

- 通所介護アイビーの利用者に昼食を提供する調理ボランティア団体「調布市いきいきクラブ調理運営協議会（以下「協議会）」の事務局として支援した。
- 台風や雪の影響により、調理活動は令和5年9月8日、令和6年2月6日は活動を中止した。実施回数は延べ222回。ブロック長会は毎月1回開催したため、実施回数は12回。
- ボランティアの負担軽減や時間短縮のため、使い捨てのプラスチック容器と割りばしで昼食を提供した。
- いただきますのタイミングでボランティアによるメニューの説明を開始した。調理する際に工夫した

点を伝えたり、利用者からボランティアに質問をしたりと交流する機会を提供した。

○新規登録者は8人。会員数65人・長期欠席者2人（令和6年3月31日現在）。

○会員に1回500円の謝礼金の支払いを行った。延べ994人。

実績等

	項目	回数	内容
会議 関係	総会	1回	令和4年度決算・令和4年度予算等
	役員会	12/12回	活動内容（献立等）の決定・運営方法について
	ブロック長会	12/12回	材料費の支給・情報交換・懸案事項の検討
	監査会	1回	令和4年度決算監査
研修	研修会	2/2回	・衛生管理について ・アイビー利用者の食形態や調理方法について意見交換会
	見学会	0回	新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施
活動	調理活動	222回	通所介護「アイビー」利用者の昼食作り
	大掃除	2/2回	各ブロック活動日に分担した担当箇所を掃除した。
	細菌検査	12回	ボランティアは月1回細菌検体を提出（
	避難訓練	1回	総会後に実施
広報	ボランティア 募集	8回	調布市社会福祉協議会ホームページ掲載1回 北部・西部・東部公民館、市民活動支援センターへ チラシ配布1回 市報3回 ふくしの窓2回 ウィンドウ美術館（総合福祉センター1階窓）1回 調布FM出演2回

分析・課題

○第4月曜日の4ブロックと第1金曜日の17ブロックは全員が欠員となっており、他ブロックからのボランティアによる応援にて活動を継続した。欠員ブロックに重複して活動をする協力してくださる方が複数人いる。引き続き、欠員ブロックへの協力を要請していくと同時に、ボランティア募集の広報活動を強化していく。

○ボランティア募集の広報として、従来の記事掲載で募集したほか、新たに公民館や市民活動支援センターにチラシを配布した。今後も積極的に広報を行い、ボランティアを増やしていく。

○第5週目の協力に関しては、ボランティアの過度な負担とならないよう、当面は見合わせていく。

○通所介護サービス「アイビー」で家族交流会・試食会を実施した際、ボランティアによる昼食を利用者の家族にも提供し、試食を行った。また家族とも交流ができるようメニュー紹介をする機会を提供した。

○他ブロックのボランティア同士の交流の機会を提供し、欠員時等助け合える環境を引き続き整えていく。

○肉に赤身が残っていたことや髪の毛の混入していたことがあったため、美味しさに加え安全面にも配慮していただけるよう、引き続き周知、徹底をしていく。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(12)	地域福祉コーディネーター（コミュニティソーシャルワーカー）（重点項目）		市	市	

結果の概要

○以下の福祉圏域において制度の狭間の課題等、様々な相談を受けるとともに、各種団体・機関と連携しながら、支え合いの仕組みづくりを目指した。

福祉圏域 (小学校区)	主な担当地域
緑ヶ丘 滝坂	仙川町1～3丁目、緑ヶ丘1・2丁目、 菊野台1丁目の一部、 東つつじヶ丘1～2丁目・3丁目の一部、 西つつじヶ丘1～4丁目の一部、若葉町1丁目の一部
若葉 調和	東つつじヶ丘3丁目の一部、 西つつじヶ丘3・4丁目の一部、入間町1～3丁目、 若葉町1丁目の一部・2・3丁目、国領町8丁目の一部、 菊野台1丁目の一部・2・3丁目
上ノ原 柏野	佐須町1丁目の一部・2丁目・3丁目の一部・4・5丁目、 柴崎1・2丁目、菊野台1丁目の一部、 西つつじヶ丘1丁目の一部・2丁目の一部、 調布ヶ丘3丁目の一部、深大寺元町2丁目の一部、 深大寺東町2丁目の一部・3・4丁目、 深大寺南町1～3丁目の一部・5丁目の一部
北ノ台 深大寺	深大寺北町1～7丁目、佐須町1丁目の一部、 深大寺元町2丁目の一部・3～5丁目、 深大寺東町1丁目・2丁目の一部・5～8丁目、 深大寺南町1～3丁目の一部・4丁目・5丁目の一部
第二 八雲台 国領	佐須町3丁目の一部、調布ヶ丘2丁目・3丁目の一部、 八雲台1・2丁目、国領町1～5丁目、8丁目の一部、 布田2・3丁目
染地 杉森 布田	国領町6・7丁目、染地1～3丁目、 布田5・6丁目、多摩川6・7丁目
第一 富士見台 多摩川	富士見町2丁目の一部、下石原1～3丁目の一部、 小島町1～3丁目、多摩川1～5丁目、布田1丁目・4丁目、 調布ヶ丘1丁目・3丁目的一部分・4丁目、深大寺元町1丁目
第三 石原 飛田給	飛田給1～3丁目、上石原1～3丁目、富士見町1丁目、2丁目的一部分・3～4丁目、 野水1・2丁目、西町

実績等

<共通>

○社会的孤立・生活困窮・サービス未利用・近隣トラブル等の制度やサービスだけでは解決が困難な課

題並びに複雑化・複合化した課題等の相談について、必要な支援機関につなげるとともに、地域住民、地域支え合い推進員及びボランティアコーディネーターを含む様々な専門職・関係機関と連携し、課題解決に向けた働きかけを行った。

- 重層的支援体制整備事業の本格実施において、「多機関協働事業」、「アウトリーチ等を通じた継続的支援事業」、「参加支援事業」、「地域づくり事業」を通じて、行政とともに専門職や関係機関の連携の充実及び住民主体の地域づくりが促進される環境の整備を図った。
- 「多機関協働事業」において、行政と連携しながら、重層的支援体制整備事業の支援機関向け説明会1回、重層的支援会議1回及び支援会議2回、福祉圏域別専門職等ネットワーク会議7回の開催を通じて、関係者の連携の円滑化並びに多機関連携の支援体制構築・充実を図った。
- 「アウトリーチ等を通じた継続的支援事業」の実施において、相談支援における訪問や地域のイベント・会議等に参加し、個別支援ニーズや地域生活課題を把握するとともに、当事者に対して丁寧な働きかけ、関係性構築、伴走支援を行った。
- 「参加支援事業」の実施において、様々な課題を抱えている住民が孤立することなく生活できる地域づくりを目指して、支援機関や企業・商店、行政等と連携しながら、住民とともに既存の社会資源の拡充並びに当事者と社会とのつながりづくりに向けた取組の実施や立ち上げ支援を行った。
- 「地域づくり事業」において、ルーテル学院大学並びに近隣4市・社協が主催する「地域福祉ファシリテーター養成講座」を開催した。受講生の募集やサポート、地域活動の視察先の調整等を行った。
- 地域福祉ファシリテーター養成講座修了生（調布1期生）の企画・立案による「防災×地域づくり」をテーマに勉強会を開催した。「地域づくり」につながるための啓発や働きかけについて、地域福祉コーディネーターの視点を伝え、テーマ設定やチラシ作成、講師との打合せをとにも取り組んだ。当日は1期生が司会やグループ共有のファシリテーターを担い、地域福祉ファシリテーター養成講座で学んだことを活かす場とした。
- 第6次調布市地域福祉活動計画の策定において、8つの福祉圏域別策定会議と市全域策定委員会を開催し、総勢169人の地域住民等が参画した。地域ごとの特性や強み、想いを反映させた活動計画が完成した。
- 個別支援および地域支援に関連する研修に参加するとともに、室田信一氏（東京都立大学准教授）によるスーパービジョン（指導・助言等）を受けて、職員の資質向上に努めた。
- ひきこもり等に関する3つの団体が実施する取組について、引き続き運営に協力した。地域福祉コーディネーターはそれぞれの活動の目的やペースにあった情報や人材を紹介し、活動の幅や可能性を広げた。
 - ・「調布ひきこもり家族会やまぼうし」は懇談会7回、学習会3回開催され、延べ142人の参加があった。学習会には臨床心理士や公認会計士、ひきこもり当事者を招き、ひきこもり等生きづらさにまつわる諸課題の勉強の場となった。
 - ・当事者会「ちょうふのこやど」は12回開催され、毎回10人前後の参加があった。毎回参加されている方もおり、安心して話せる・交流できる場となっている。また、当事者会「ちょうふのこやど」を運営する「生きづらわーほりプロジェクト」の派生企画として、生きづらさを抱えながら子育てをする母親を対象とした「ママ会りあん」が開催された。
 - ・生きづらさを抱える女性と女性自認の方が、ゆるやかにつながれる場「調布女子会のみま」は、ホームページを開設して周知に努めた。また、スタイリングやメイク法、一輪のお花による癒しをテーマとしたワークショップ等を開催したところ、興味・関心を持った初めての参加者もあり、当事者や支援者をつなげるきっかけとなった。懇談会9回、イベント3回を行い、延べ94人の参加があった。
- 市内の子ども食堂及びフードパントリー団体への寄付や助成金、勉強会等の情報提供を行うとともに、団体同士の情報交換を目的とする会議を2回開催した。また、子ども食堂の新規立ち上げ支援を行う

とともに、生鮮食品の寄付のマッチングや無料映画招待など、農家並びに企業・商店と子ども食堂がつながりをもてるよう支援した。

○実相談件数

福祉圏域（小学校区）	個別支援	地域支援	合計
緑ヶ丘・滝坂	51	32	83
若葉・調和	8	1	9
上ノ原・柏野	76	63	139
北ノ台・深大寺	70	55	125
第二・八雲台・国領	50	28	78
染地・杉森・布田	60	40	100
第一・富士見台・多摩川	54	45	99
第三・石原・飛田給	62	36	98
全域・複数圏域		56	56
合計	431	356	787

○延べ活動件数（行動区分）

福祉圏域 （小学校区）	訪問	来所	電話	メール	オン ライン	その他	合計
緑ヶ丘・滝坂	263	55	324	130	12	281	1,065
若葉・調和	15	18	47	18	0	37	135
上ノ原・柏野	479	127	446	242	8	167	1,469
北ノ台・深大寺	179	75	526	353	19	202	1,354
第二・八雲台・国領	337	130	420	292	8	380	1,567
染地・杉森・布田	330	150	328	297	14	349	1,468
第一・富士見台・多摩川	269	133	405	377	22	193	1,399
第三・石原・飛田給	372	54	146	105	20	219	916
合計	2,244	742	2,642	1,814	103	1,828	9,373

分析・課題

○相談の中には、既存の制度だけでは解決が困難な状態や複合的な地域生活課題が多く含まれ、必ずしも課題解決につながらない相談もある。その多くが、「精神疾患」や「発達障害」、生きづらさにつながるパーソナリティ等の背景が重なることにより、社会的孤立につながっているケースである。また課題や背景に対する周囲の理解がないことで、より複雑化する傾向がある。そのような相談に対応するためには、福祉、保健医療、就労、教育、司法、住宅等の多分野の専門職による支援体制をチームで行っていくことが必要である。調布市における重層的支援体制整備事業において、専門職及び機関のネットワークの充実と地域住民等との地域づくりの充実に努める必要がある。

○地域福祉コーディネーターの特徴でもあるアウトリーチにて、個別の訪問相談や地域のイベント、地域活動等へ積極的に出向くことで、支援者と関係が途切れやすい相談者への伴走的な相談支援、地域住民等からの情報提供、新規相談を受けることにつながった。

○企業や商店から地域貢献を一緒に考えてほしいという相談も増えている。各企業が持つ想いや強み、ノウハウと、地域生活課題や個人の困りごと等のニーズとを適切にマッチングしながら、企業の地域貢献活動を継続的な地域づくりや社会参加の取組へつなげていく必要がある。

○第6次調布市地域福祉活動計画の推進にあたり、8つの福祉圏域ごとで地域づくりを進めるとともに、市全域における個別課題ニーズに対する課題解決に向けた取組や地域活動が充実するための仕組みづくりを地域住民や関係者とともに検討していきたい。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(13)	ちょうふ地域福祉フォーラム			市	

結果の概要

- 地域福祉コーディネーターや子ども・若者総合相談支援事業「ここあ」では、不登校やひきこもり等につながる病気や特性で悩む当事者や家族からの相談や、社会的理解が乏しいことにより課題が複雑化している相談等を受けている。起立性調節障害というテーマをもとに、見た目ではわからない病気への認知や啓発を通じて、相談窓口としての啓発とともに、当事者会や家族会の立ち上げにつながる機会とすることができた。
- 起立性調節障害等、見た目ではわからない病気や特性に関するテーマに関心のある地域住民とつながることができた。市内各地で子どもや若者等若年層の当事者や家族の声を聞き、調布市全域において、どのような資源が必要かを考え、当事者や家族とともに立ち上げ等の活動を広げていくきっかけとなった。

実績等

タイトル	起立性調節障害を知っていますか？～当事者家族から聴くリアルと、今あなたのできること～
日にち	3月24日
会場	調布市文化会館たづくり 8階映像シアター
内容	(1) 映画上映「今日も明日も負け犬。」 起立性調整障害の当事者である高校生監督率いる学生映画チームが送る奇跡の実話 (2) 講話「起立性調節障害について及び当事者家族の体験談と想い」 講師 Kiku-Ne 代表 野澤 菊枝氏 (3) 活動紹介 調布市北部エリアで活動している「てのひらドロップス」より当事者家族及び活動者としての想いと活動紹介 (4) 子ども・若者総合相談支援事業「ここあ」及び地域福祉コーディネーターより事業紹介
申込み	70人

分析・課題

- ちょうふ地域福祉フォーラムを通して、当事者や家族、地域の活動者や専門機関等の参加者に対して、起立性調節障害についての理解と、参加者として今あなたにできることを考えるきっかけとすることができた。今後は当事者会や家族会の市内各地での立ち上げにつながる働きかけを行い、同じ境遇で悩む方同士のつながる場を増やしていきたい。
- 起立性調節障害等の見た目ではわからない病気や特性に対して、社会的な認知や理解を広げることで、一人でも多くの子どもの若者とその家族が生きやすい環境をつくっていく必要がある。